



環境配慮設計ガイドラインの概要

出典：令和6年3月経済産業省 生活製品課

https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_ser vice/mono/fiber/pdf/20240329-1.pdf

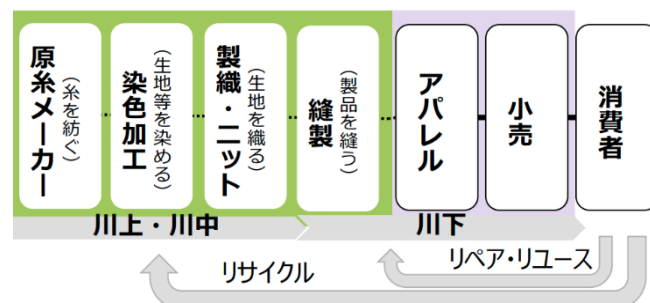
繊維製品における環境配慮設計を促進していくため、環境配慮設計ガイドラインを策定しました。ガイドラインでは、生産・販売、リペア・リサイクルの各段階に応じた環境配慮設計11項目を設定し、評価基準や評価方法を記載されています。

繊維事業者は、本ガイドラインを活用し、自社の特徴を活かしたり、新たな市場の拡大に向けて、環境配慮に取り組むことを推奨いたします。環境配慮設計項目は、繊維製品ライフサイクルの各段階で設定し、環境配慮設計項目ごとに事業者への調査やエコデザイン規則案等、海外調査や他産業の動向を踏まえ、評価基準及び評価方法を設定。事業者は、繊維製品の設計段階において環境配慮の目的・目標を立て、Plan（計画）、Do（実施）、Check（点検）、Action（見直し）による継続的改善を図ることが望ましいです。

《環境配慮設計項目》

1. 環境負荷の少ない原材料の使用
2. GHG 排出抑制、省エネルギー
3. 安全性への配慮
4. 水資源への配慮
5. 廃棄物の抑制
6. 包装材の抑制
7. 繊維くずの発生抑制
8. 長期使用
9. リペア・リユースサービスの活用
10. 易リサイクル設計
11. 繊維製品のリサイクル

- 繊維産業のサプライチェーンに従事する各事業者（糸製造、染色・加工、生地製造、縫製）は、環境配慮において、生産、販売、リペア・リサイクルの各段階に応じた環境配慮が求められる。



■ 環境配慮設計ガイドラインの利用方法

事業者が取り組む環境配慮設計の主な内容は以下のとおり。教育機関においても、学生等へ環境配慮の考え方、実践方法について普及、促進されることが望ましい。

《原糸メーカー》

糸の原料については「環境負荷の少ない原材料の使用」、生産工程では「GHG 排出抑制・省エネルギー」が求められる。使用済繊維を再利用する「繊維製品のリサイクル」への取組も求められる。

《染色加工》

水使用が多いため、「水資源の配慮」が求められる。また、「GHG 排出抑制・省エネルギー」や、染料や加工材など化学物質について「安全性の配慮」も求められる。

《製織・ニット、縫製》

生産工程では「廃棄物の抑制」や、耐久性など「長期使用」に向けた工夫が求められる。

《アパレル・小売》

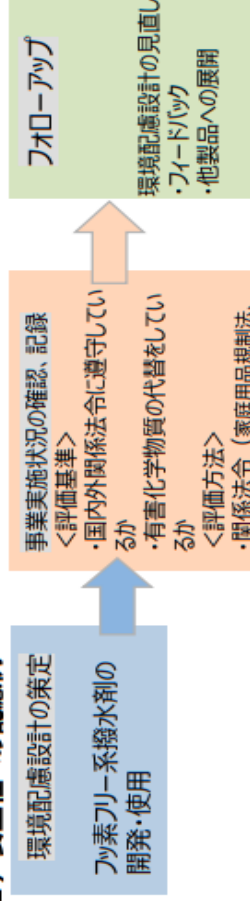
設計段階において、「易リサイクル設計」や「長期使用」が求められる。

販売段階において「包装材の抑制」や、消費段階において「リペア・リユースサービスの活用」が求められる。

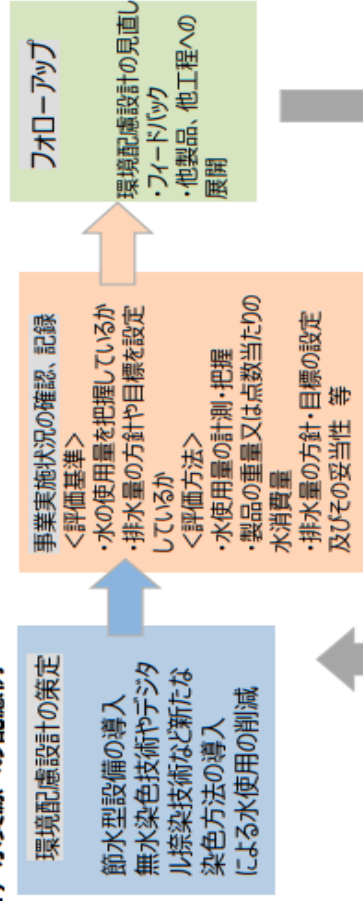
(活用例 2) 染色加工企業

染色加工で使用する染料や加工剤では、有害な化学物質の使用の削減や廃止など「安全性への配慮」が求められ、近年、特にフッ素フリーの撥水剤の開発が注目されている。また、染色工程では一般に水を大量に用いることから、「水資源への配慮」が重要であり、水使用を低減したり、水を全く使わない新たな染色技術や染色技術の開発・普及も期待されている。

(1) 安全性への配慮例



(2) 水資源への配慮例



(活用例 3) 製織・ニット企業

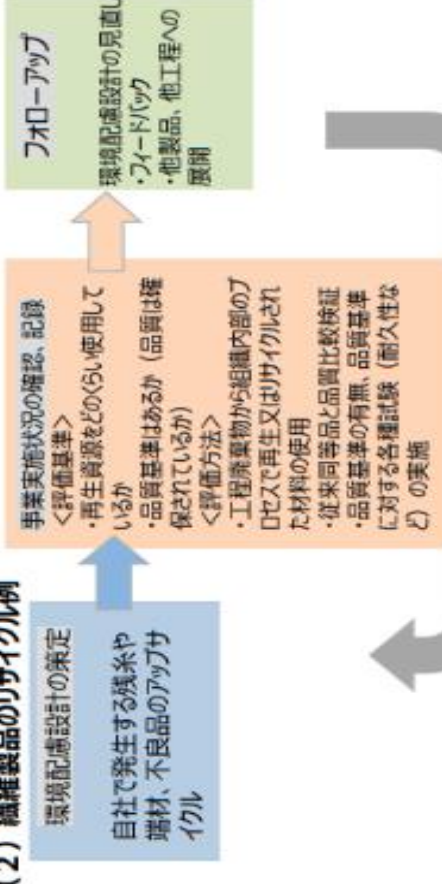
製織・ニットを製造するに当たり、糸にリサイクル繊維や植物由来のバイオ繊維を用いるなど「環境負荷の少ない原材料の使用」は、今般、繊維技術の発展と消費者意識の高まりにより、その需要は拡大している。

また、自社で発生する残糸や端材、不良品をアップサイクルして、衣類や小物などの製品として販売する取組も望まれる。

(1) 環境負荷の少ない原材料の使用



(2) 繊維製品のリサイクル例

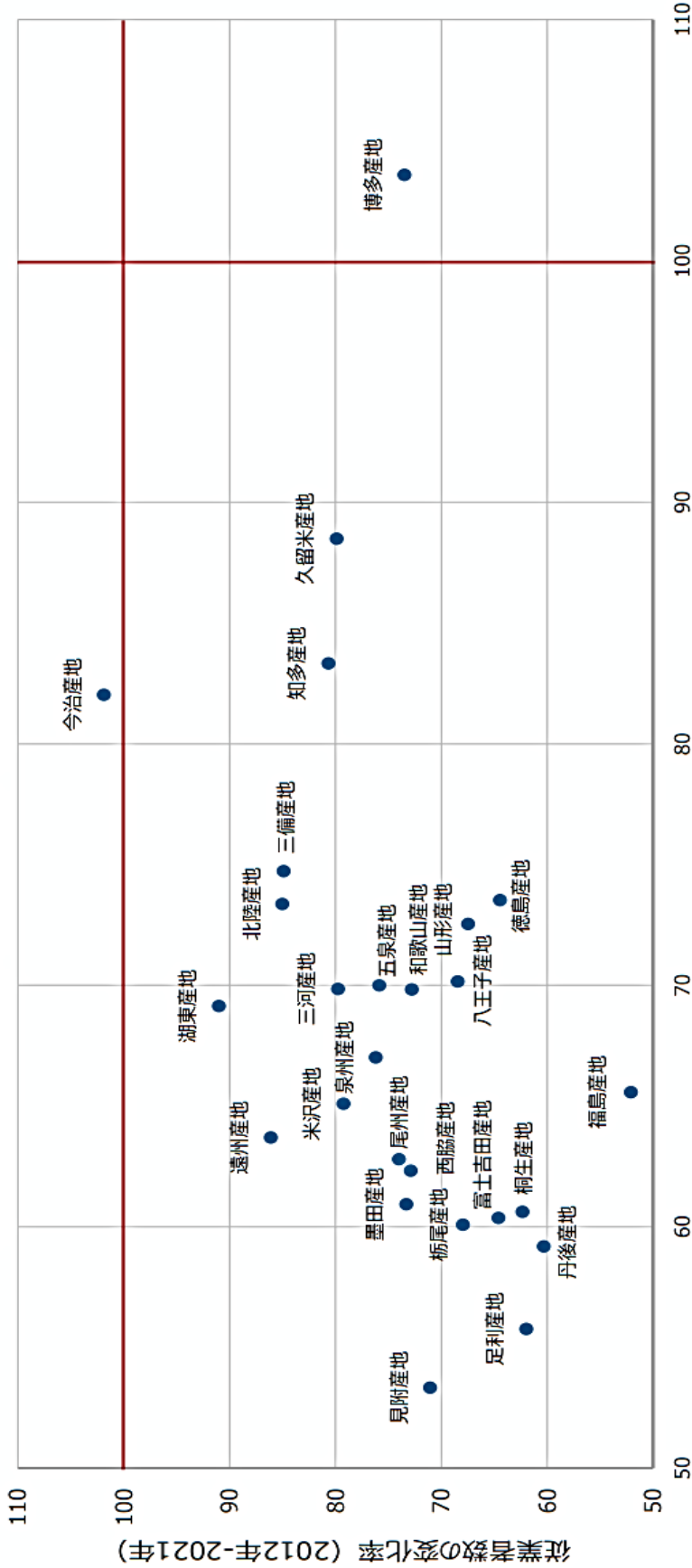


繊維産地の従業員数・事業所数の変遷

出典：令和7年3月経済産業省 製造産業局 生活製品課

- ・ 繊維産地の従業員数、事業所数の変化率を見ると、多くの産地で、100%を下回っており、従業員数、事業所数が軒並み減少していることが見て取れる。（なお、本集計は、産地における繊維産業全体の事業所数・従業員数の変化率を機械的に集計したものであり、実態に即しているとは限らない。）

繊維産地における従業員数・事業所数変化率（2012年を基準とした2021年の変化率）



事業所数の変化率（2012年-2021年）

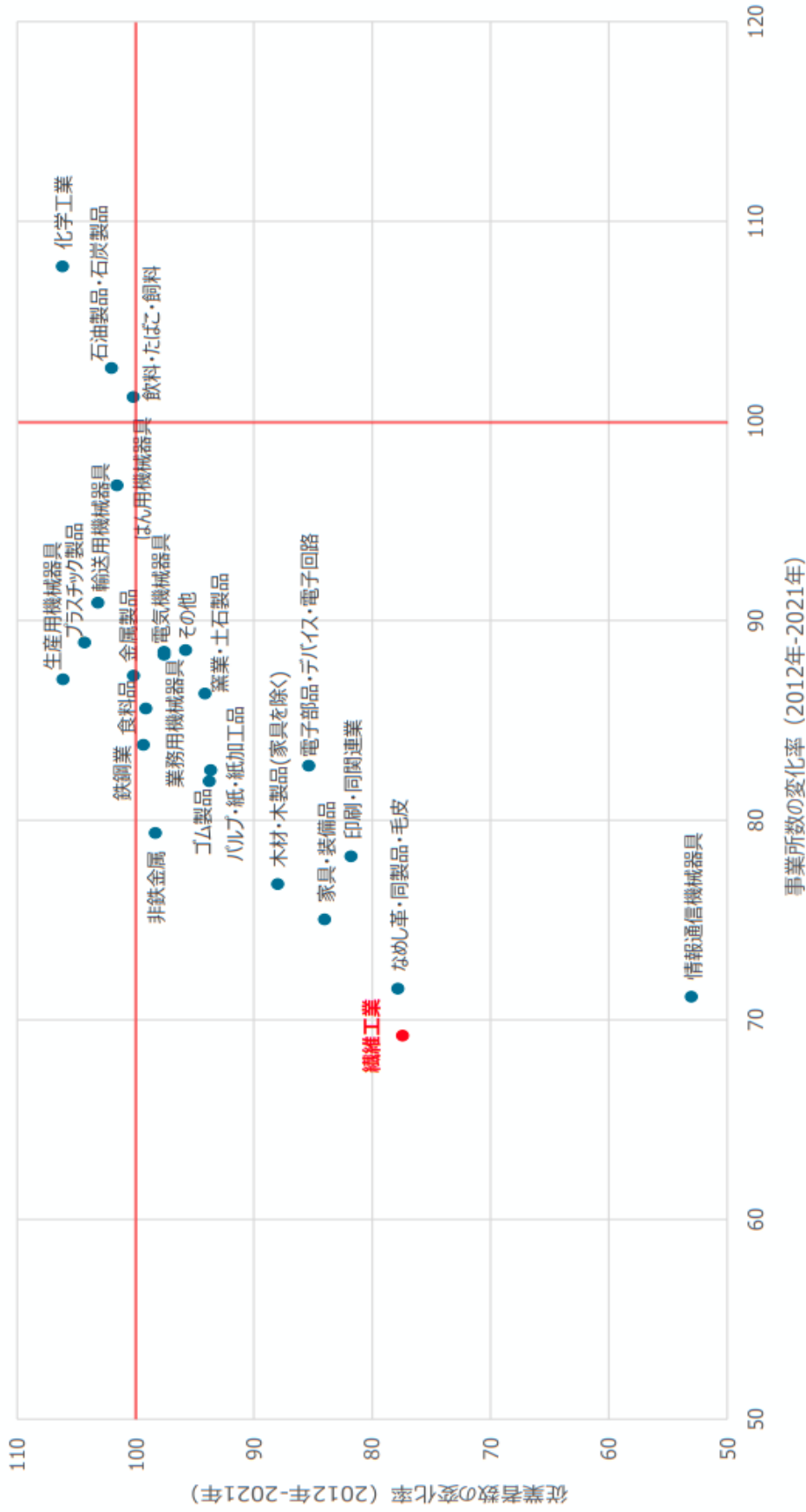
出典：総務省・経済産業省「平成24年 令和3年経済センサス活動調査結果」（事業所に関する集計 産業横断的集計）を加工して作成。
※繊維工業（小分類コード：11）における事業所数、従業員数より算出。
※天龍社産地は遠州産地に内包されている。

各製造業の従業員数・事業所数の変遷

出典：令和7年3月経済産業省 製造産業局 生活製品課

・各製造業と比較しても、繊維産業の従業員数、事業所数の変化率の減少率は大い。

各製造業における従業員数・事業所数変化率（2012年を基準とした2021年の変化率）



出典：総務省・経済産業省「H24年、R3年経済センサス活動調査結果」（事業所に関する集計・産業横断的集計）を加工して作成。
※各製造業における事業所数、従業員数より算出。

防災の効果は？－防災品が役立った事例－

出典：日本防災協会 HP 2024/11/27



What's New

防災品には、一定の防災性能が求められています。防災性能試験基準に定める方法で①残炎時間(着火してから炎を上げて燃える状態が止むまでの時間)、②残じん時間(着火してから炎を上げずに燃える状態が止むまでの時間)、③炭化長(燃え終わったのちの炭化した燃えかすの長さ)、④炭化面積(燃え終わったのちの炭化した燃えかすの面積)などにより燃えにくさを測定し、その性能を確認し、防災性能試験基準に適合したものが防災品です。

防災性能を有する防災品は、小さな火源(火だね：マッチ・ライター)の炎を接しても炎が当たった部分が焦げるだけで容易に着火せず、着火しても自己消火性(自ら延焼拡大を停止する性能)により、容易に燃え広がることはありません。

次に、防災品を使用することで、火災が抑制された事例をご紹介します。

■防災品が役立った事例(防災ニュースより抜粋)

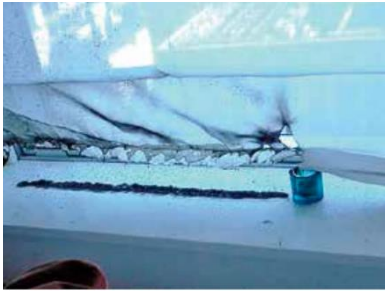
発災年月	令和4年9月	
発見場所	居室	
発火源	電源コード	
概要	テレビ電源コードが家具と内壁に圧迫され、ショートし出火。防災カーテンで被害軽減	

発災年月	令和3年2月	 延焼拡大を防いだ防災物品のカーテン
発見場所	複合用途建物の飲食店舗内	
発火源	ロウソク	
概要	防災カーテンであったことから店員がすぐ火災に気づき初期消火出来、延焼拡大を防いだ	

発災年月	令和2年5月	
発見場所	共同住宅室内	
発火源	カセットコンロ	
概要	食材のアルコールから火が立ちカーテンに接炎、消火器にて初期消火。炎症拡大を防いだ。	

出火室の状況

防災カーテンの状況

発災年月	平成 26 年 12 月	 延焼を防いだカーテンの焼損状況
発見場所	ホテル客室	
発火源	ローソク（アロマ）	
概要	窓際においたアロマ用ローソクに気付かずにカーテンを下し接炎。初期消火はされず、自然鎮火と思われる。	

発災年月	平成 30 年 6 月	 延焼を防いだ袖幕の状況
発見場所	公会堂舞台 上演中	
発火源	ホリゾン灯	
概要	ホリゾン灯が袖幕に接触した状態で 35 分使用。ライト部分に熱が蓄積し袖幕が焼損。防災品の為、延焼を防ぐ。	

発災年月	平成 26 年 12 月		写真 4 焼損状況 
発見場所	自動証明写真コーナー		
発火源	放火		
概要	遮蔽カーテンに放火。自然鎮火の為、初期消火はせず。カーテンの損傷のみ。		

発災年月	平成 23 年 1 月	 一部焼損した防災カーテン（左下が焼損部）	 ①の焼損部分の拡大写真
発見場所	特別支援学校の更衣室		
発火源	放火		
概要	プラスチックが燃えるような臭いに気づきカーテンが焦げているのを発見。防災品だったので一部損傷にとどまった。		